

VoiceLink Express

ユーザーガイド

(VLU-04)

第 1 章 VoiceLink USB の特徴

1.1 特徴

PCのUSBポートを使用して通話の内容を簡単にPC及び、ネットワーク内の共有フォルダへ保存することが可能です。

一般アナログ回線を利用する場合、フックオン検知機能及び、DTMF (Dual Tone Multiple Frequency)認識機能が可能です。

1.2 推奨動作環境

- ☞ CPU : Intel Pentium 200MHz 以上
- ☞ Memory : 64MB 以上
- ☞ OS : Windows 98SE ,Windows Me, Windows 2000, Windows XP Home/Professional
- ☞ USB 1.1 以上
- ☞ モジュラーケーブル : 電話回線(Analog Line)または PBX (Analog Line)

1.3 内容物

- ☞ VLU-A04(USB Telephone Recording Adapter)
 - USBケーブル、モジュラーケーブル、受話器コード
 - インストールCD, ユーザーガイド

第2章 インストール

2.1 VLU-A04本体の接続

本製品は電話機とモジュラーケーブルがあれば次のように簡単に接続が可能です。まず初めに、VLU-A04とPCをUSBケーブルで接続します。次に、以下に示す2つのどちらかの接続方法でVLU-A04を接続します。

1. 回線側への接続（アナログ回線のみ）

- 電話機に接続されたモジュラーケーブルを外し、VLU-A04の裏面の④番<LINE>へ接続します。
- 製品に同梱のモジュラーケーブルでVLU-A04前面③番<TEL>と電話機を接続します。
- VLU-A04の下面⑦番<切替スイッチ>をLINEの方にセットします。

2. 受話器側への接続（アナログ・デジタル両回線に対応）

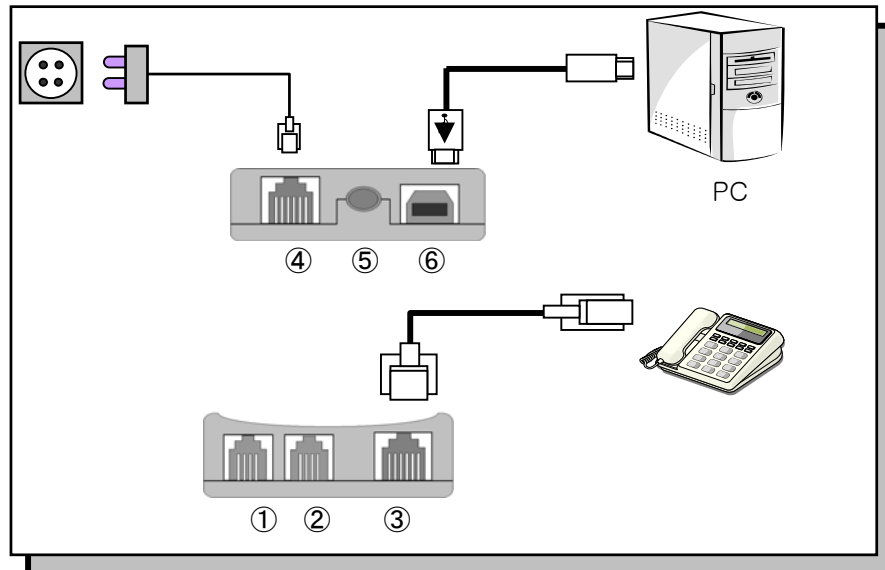
- 受話器コードを電話機から外します。
- 受話器コードを VLU-A04の前面②番<☎>へ接続します。
- 製品に同梱の受話器コードでVLU-A04の①番<📞>と電話機を接続します。
- VLU-A04の 下面 ⑦番<切替スイッチ>を H/Sの方の方にセットします。

※受話器と電話機の間に接続する場合はフックオン検知機能は無効になります

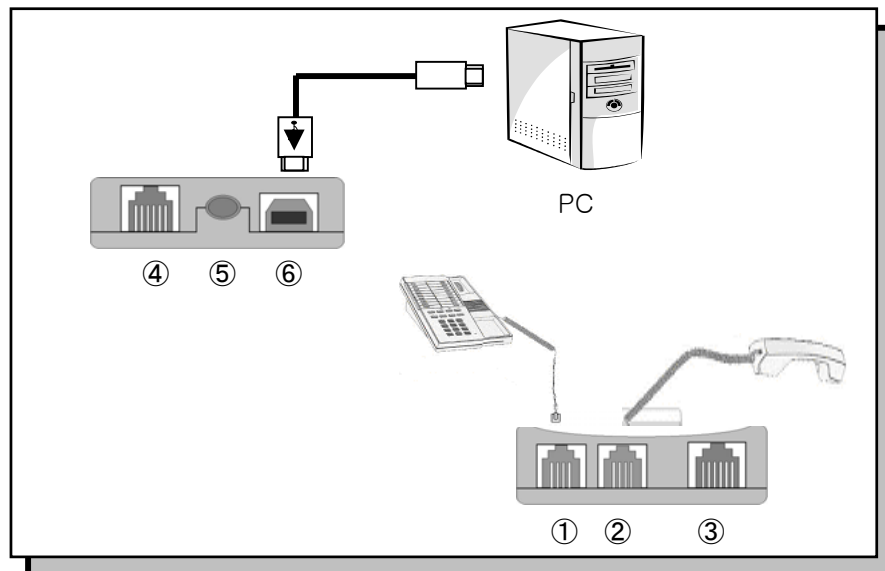


接続図

- 電話回線側への接続



- 受話器側への接続



2.2 ドライバのインストール

Windows ME / 2000 / XP ではUSB装置をPCへ連結すると自動的に装置ドライバを認識します。WINDOWS 9 8 SEを使う場合には次のマニュアルを参考してドライバを設置してください。プログラムが正常的に動作するためには三つのドライバの設置が必要です。

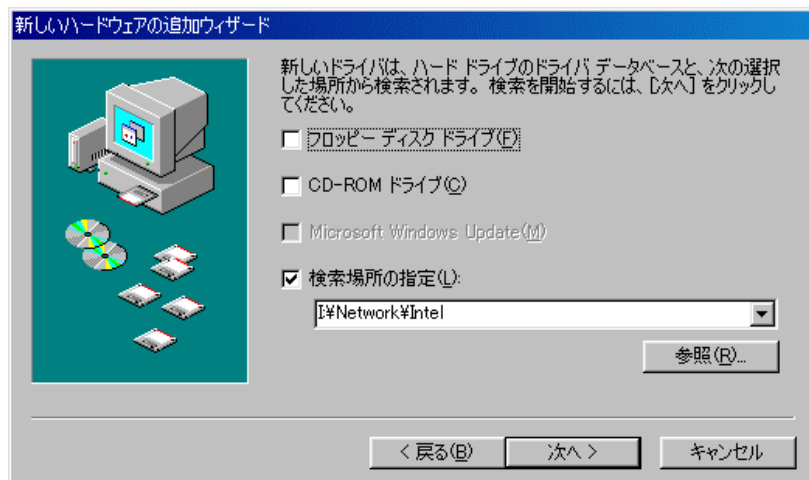
1. HID ドライバの設置
2. USB AUDIOドライバの設置
3. Compositeドライバの設置

HIDドライバの設置

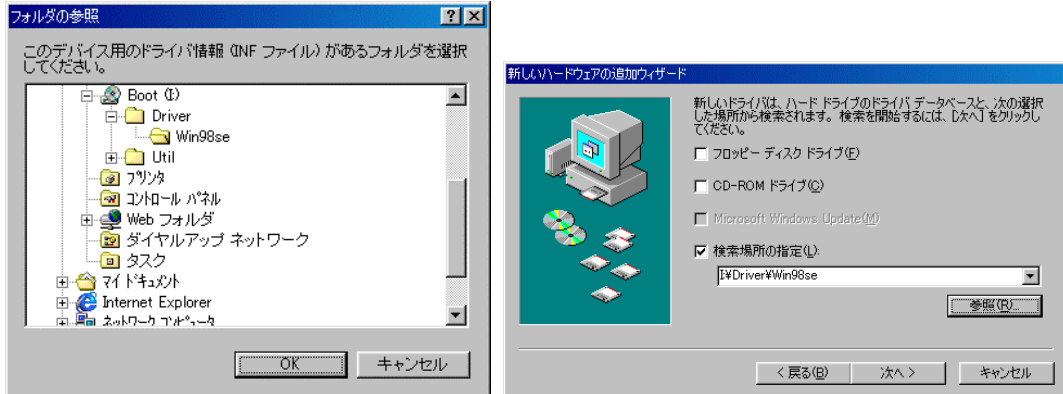
1. 新しいハードウェアの追加ウェザードが表示されると<次へ>をクリックして装置で<使用中のデバイスに最適なドライバを検索>を選択してからクリックしてください



2. “検索場所の指定”の選択してから< 参照 >をクリックしてください



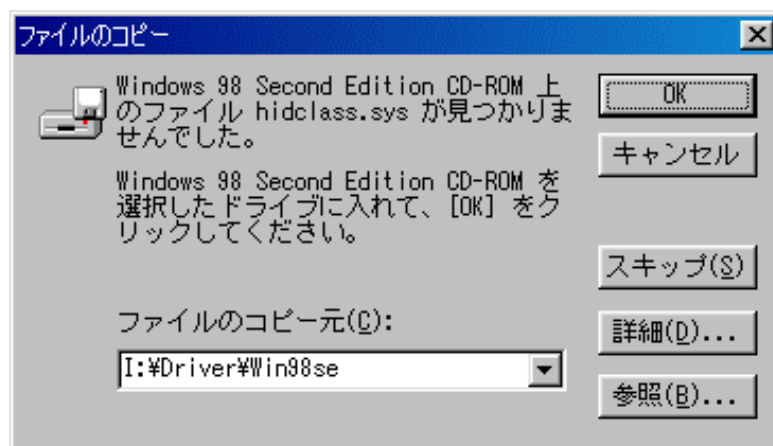
3. フォルダ参照のウィンドウからVoiceLink Express プログラムCDのフォルダにあるDRIVERフォルダを選択後<OK>をクリックしてください



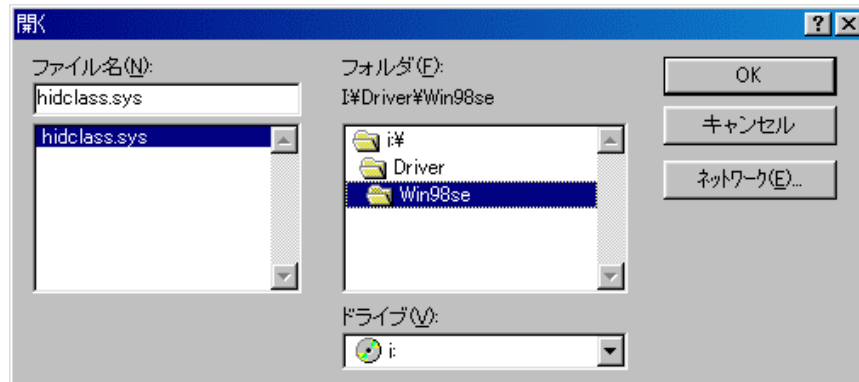
4. ドライバ経路を選択してから<次へ>をクリックしてください。設置を進めます



5. 設置のためにウィンドウ CD または VoiceLink Express プログラム CD を入れてください。CD を入れてから<OK>をクリックしてください。



6. 別のウィンドウが表示されるとhidclass.sys fileを探すためにドライバ選択場所でCD-ROM drive OS (Window 98SE) を選択してから<OK>をクリックしてください 設置を完了します



USB AUDIO ドライブの設置

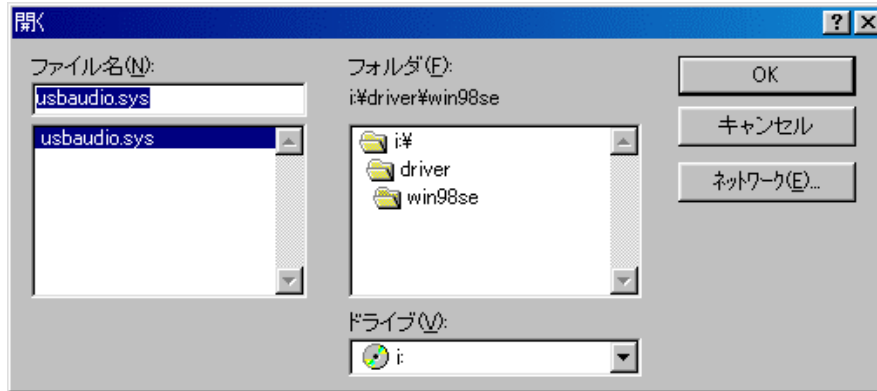
1. 新しいハードウェアの追加ウェザードが表示されると<次へ>をクリックして装置で<使用中のデバイスに最適なドライバを検索>を選択してからクリックしてください



2. “検索場所の指定”を選択して< 参照 >をクリックしてください



3. CD-ROM ドライブで “usbaudio.sys” を選択してから <OK> をクリックしてください



4. <完了> をクリックしてください



Composite ドライブの設置

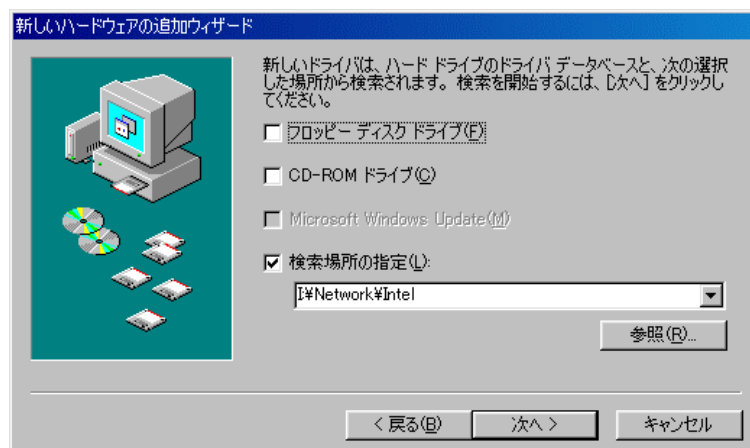
1. 次の手順で自動的にこのウェイドが表示されます <次へ> をクリックしてください



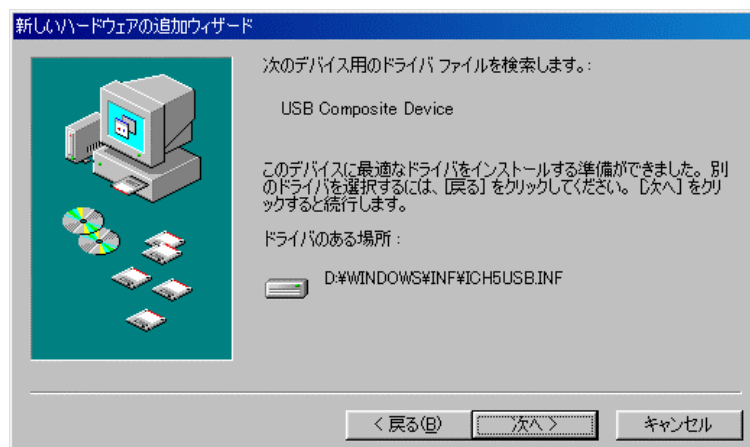
2. 新しいハードウェアの追加ウィンドウが表示されると<次へ>をクリックして装置で<使用中のデバイスに最適なドライバを検索>を選択してからクリックしてください



3. “検索場所の指定”の選択してから< 参照 >をクリックしてください

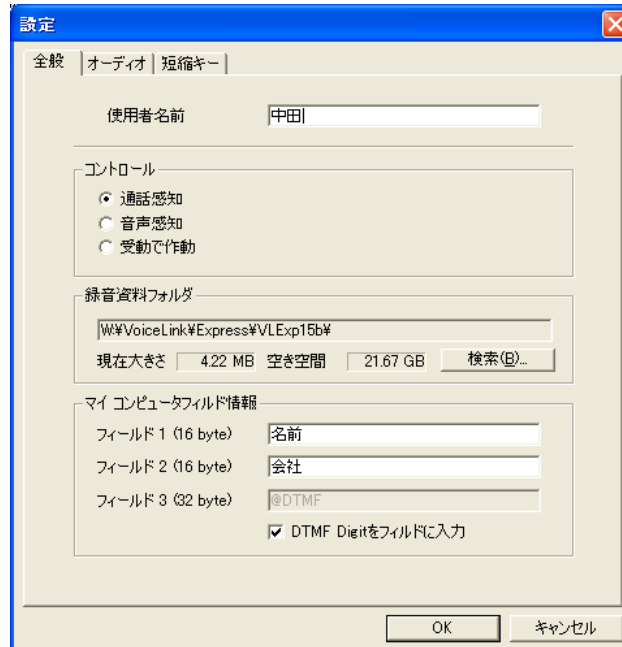


4. ドライバ経路を選択してから<次へ>をクリックしてください 設置を進行します



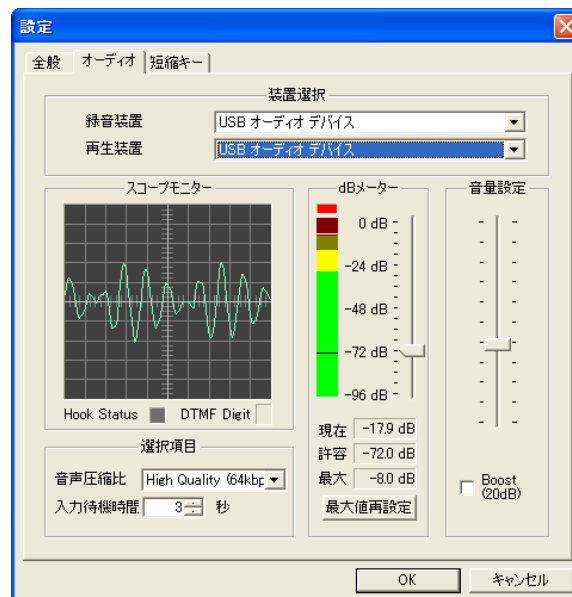
ドライバの設置を完了します

3.2 設定



< 設定_1 画面 >

- ☞ ユーザー名: 録音するユーザーの名前を入力します。
- ☞ コントロール: 電話録音方式を選びます
 - 通話感知して録音・停止コントロール: オンフックを検知して自動録音します。一般アナログ回線ではお勧めの機能です。
(電話回線側への接続の場合のみ有効)
 - 音声感知して録音・停止コントロール: 音声信号を検知して自動録音を行います。
 - 受動で録音・停止コントロール: ユーザーが手動でボタンにて録音・停止をします。
- ☞ 録音資料フォルダ: 通話の録音内容を保存するフォルダです
マイコンピュータのハードまたはネットワーク内の共有フォルダなど、容量が大きいファイルサーバ等を活用して録音資料の保存が可能です。
- ☞ フィールド名: 通話内容に即した内容を記録し、迅速な検索ができるように項目名を指定します。
 - DTMF Digit をフィールドに入力: 電話を掛けた番号 (発信) を三番目のフィールドに自動入力します。



<設定_2 画面>

- ☞ 装置選択：通常、自動で USB デバイスを認識します
 - 録音装置：USB 録音装置(VLU-04)を接続すると USB オーディオデバイスが自動選択されます。一部 PC では自動認識されない場合がありますが、その場合はプルダウンメニュー内の USB オーディオデバイスを選択します。
 - 再生装置：録音内容を再生するサウンドデバイスを選択します。基本的にはウィンドウズで設定した再生サウンドデバイスが選択されます。
- ☞ スコープモニター:入力信号の波形を表示します。このモニターを通して最適の録音入力状態を確認することが可能です。
- ☞ dBメーター(レベルメーター):入力される信号の大きさを表示します。
- ☞ 音量設定:USB 録音装置(VLU-04)に入る信号のレベルを調節します。スコープモニターを活用して最適の入力信号レベルを調節します。
- ☞ 選択事項
 - 音質:保管する音声の品質を選びます。普通は標準品質を選択しますが、より高級の音質で保存したい場合は高品質を選択します。ただし、高品質の録音にはより大きい容量のフォルダが必要です。
 - 入力待機時間：音声感知が選択されている場合、ここで設定された時間、音声信号がない場合は録音を自動終了します。

第5章トラブルシューティング

5.1 インストールの際 問題解決

- ☞ Q) USB録音装置を連結しましたがスコープモニターに波形が表示されません。
- A) まず初めにVLU-04下面にある切替スイッチが適切に設定されているか確認しましょう。一般アナログ電話の場合はヘンドセットで設定してください
- ☞ Q) USB録音装置を正常的に接続しましたが、スコープモニターに波形が表示されません。
- A) 各々の接続を再度確認してください。確実に接続することで問題が解決される場合があります。
- ☞ Q) USB録音装置を連結するとPCのSPEAKERから音が出ないです
- A) USB録音装置を設置すると既存のAUDIO装置の選択設定が標準AUDIO装置になる場合があります。こんな場合にはPCに設置されたサウンドカードを通じてAUDIOが出ないでUSB録音装置を通じて出るものです。上のような現象には次のように設定してください

■ ウィンドウ98の場合

”スタート” → “設定” → “コントロールパネル” → “MULTIMEDIA” を実行すると出る画面で “AUDIO” を選択します。見える画面のAUDIO再生部分から基本設定装置を既存サウンドカードで選択してください。

■ ウェンドウ 2000/XPの場合

”スタート” → “設定” → “コントロールパネル” → “サウンドまたはAUDIO装置” を実行すると出る画面で “AUDIO” を選択します。見える画面のAUDIO再生部分から基本設定装置を既存サウンドカードで選択してください。